

次期福岡県青少年健全育成総合計画（福岡県青少年プラン）の策定について

1 策定理由

現行の青少年プランを策定した4年前と比べ、青少年を取り巻く状況は大きく変化しており、こうした変化に対応した新たなプランを策定する必要がある。

2 青少年を取り巻く状況

- ・ 家庭
コロナ禍は困難を抱える家庭に特に深刻な影響を与えており、虐待、貧困、ひきこもり、ヤングケアラー等が社会問題化。
- ・ 学校
学校現場では、自殺、不登校、いじめなど、生徒指導上の課題が深刻化し、学校現場の負担は年々増大。
- ・ 地域
近所付き合いの減少など住民のつながりの希薄化。地域活動の担い手の高齢化・固定化等
- ・ 情報通信環境（ネット空間）
教育や行政、医療などあらゆる分野でデジタル化が加速し、ネットの利活用が進む一方、SNSに起因する犯罪被害、誹謗中傷等の弊害も深刻化。
- ・ 就業（働く場）
近年、若者の失業率や平均賃金、非正規雇用者の割合等は改善傾向にあったがコロナ禍で悪化が懸念。一方、テレワークが急速に普及するなど、新たな働き方の動きも見られる。

3 県民意識調査の結果

別添のとおり

4 策定方法

- ・ 専門委員会において、次期青少年プランの策定に向け調査・検討を行い、県附属機関である福岡県青少年問題協議会で審議する意見具申（案）を作成



- ・ 福岡県青少年問題協議会は、上記案を審議し、知事に対し意見具申



- ・ 知事は、青少年プラン案を策定し、県議会に上程



- ・ 県議会で審議、議決 次期青少年プランの完成、公表

5 策定スケジュール(案)

- ・ 令和3年4月～11月 青少年問題協議会専門委員会
- ・ 令和3年9月 第1回青少年問題協議会
- ・ 令和3年10月 パブリックコメント実施
- ・ 令和3年11月 第2回青少年問題協議会
- ・ 令和3年12月 知事への意見具申
- ・ 令和4年1月 福岡県青少年健全育成対策推進本部会議
- ・ 令和4年2月 県議会2月定例会への上程
- ・ 令和4年3月 次期青少年プラン完成